

愛知県 半田市LED防犯灯



設置区域：愛知県半田市全域
 施主：半田市
 施工：市内電気工事会社14社
 更新完成：2015年1月

S341

愛知県半田市では、夜間の生活道路をより明るくすることと、電気料金の値上がりによる財政負担の増加を抑えることを目的として、市が管理する防犯灯約6,439灯をリース方式の導入によりLED防犯灯に更新しました。

山車祭りで知られる愛知県半田市が防犯灯をLED光源タイプに一斉更新

名古屋市の南に伸びる知多半島の中央東側に位置する半田市は、古くから海運業や醸造業などで栄えてきた、知多地域の政治・経済・文化の中心都市です。現在「知多型(半田型)」と呼ばれる山車の形式があるように、その山車祭りは広く知られ、国の重要無形民俗文化財にも指定されている毎年5月の「亀崎潮干祭の山車行事」、5年に一度の「はんだ山車まつり」では多くの人出で賑わいます。

この半田市の全域に設置されている防犯灯は、これまで20形蛍光ランプ器具または40形水銀ランプ器具などが採用されていましたが、近年の電気料金の値上がりにより市のコスト負担が増え、他の市民サービスにも影響をおよぼしかねないため、全灯LED化に踏み切り平成27年(2015年)1月に更新を完了しました。

主に電灯料金区分「10Wまで」のLED防犯灯に更新し電気料金をカット

今回の更新では、一部の幹線道路沿いなどに設置したLED防犯灯20VA(既設器具40形水銀灯タイプ)を除き、ほぼすべてを20形蛍光ランプ器具と同等以上の明るさ(器具光束790lm)を確保しながら消費電力が8.9Wと小さいLED防犯灯10VAに統一しました。設置は市の規定に基づいて間隔50mを基本とし、特に防犯上必要と認められる場所ではそれ以下の距離でも設置しています。また取り付け高さは約4.5mとして歩道における制限高さをクリアしています。

LED防犯灯10VA(昼白色タイプ)は、20形蛍光ランプ器具の設置間隔10mから18m(クラスB)にアップ、電気料金区分では3ランクダウン。光源寿命60,000時間。ランプ交換の手間が省け、交換に伴うメンテナンス費用を削減しています。実際の消費電力も小さく20形蛍光ランプ器具に比べて約63%の削減となるばかりか、照度センサーによる自動点灯/消灯によりムダな点灯を抑えています。試算では1台当たりのCO₂排出量で年間約25.4kg減らすことができ、環境負荷を大きく軽減します。

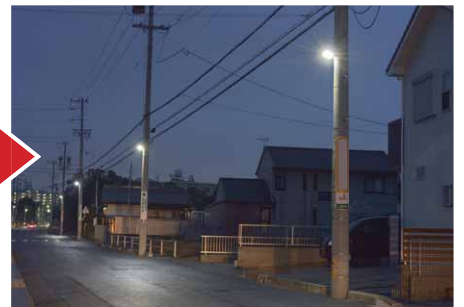
更新後には地域住民から「以前より明るくなった」という声が聞かれ、また器具全長が短いので祭りのときも山車の通行の邪魔にならない、といったコンパクトさに対する評価も上々です。



更新のLED防犯灯により、人通りが少なくても安心できる半田市大池町付近の閑静な住宅街



半田市乙川若宮町付近の生活道路の更新したLED防犯灯



LED防犯灯点灯時



半田市立横川小学校南側の風景：夜間は校庭側(写真右側)からの光がなくLED防犯灯の明るさが際立つ



LED防犯灯10VA点灯時

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
半田市全域 屋外	LED防犯灯10VA	LEDK-78926WP-LS1	6,350	LED消費電力：8.9W
	LED防犯灯20VA	LEDK-70927WP-LS1	89	LED消費電力：16.5W